

薬学部実務 実習生の 受け入れを 行っています。



5月末より、北海道科学大学薬学部の学生さんが、実務実習に入っています。

薬学部ではOSCEという試験があり、臨床(実際の患者・利用者)に出るに値する能力・所作・態度が身についているかが試され、合格しないと病院や薬局で実習することができません。皆さんの前に立つ実務実習生は、この試験に合格した学生ということになります。

また、はるか薬局も当然のことながら次代の医療従事者を育成するのが調剤薬局の使命と考え、的確で丁寧な指導をしています。実務実習生には常に担当者が付き指導や見守りを行いますので、ご協力をお願いします。

実習期間は約2か月ですので、もしかしたら2度、3度、学生がお薬の説明をさせていただくこともあるかもしれません。ほかの薬剤師と同じように、お薬のご質問があればどんどん聞いていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(事務:菅原)

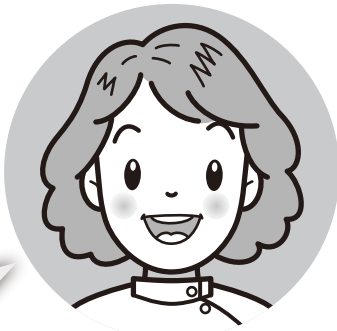
紫外線

GWも明け、これから夏に向けて特に話題になるものの一つが、紫外線ではないでしょうか？

例えば、紫外線を浴びる事で作られるビタミンDはカルシウムのバランスを整えたり、骨の健康を保つ働きをしています。お薬でいうと、アルファカルシドールやエルデカルシトールがあります。

一方で、紫外線の浴びすぎは皮膚トラブルを引き起こす事も知られています。

紫外線(UV)は、波長の長い方からUVA、UVB、UVCの三つに分けられます。



波長	UVC	UVB	UVA
	280nm 以下	280-320nm	320-400nm
皮膚へのダメージ	大	→	小
皮膚内部への透過度	小	←	大

UVCは肌に最も有害ですが、オゾン層で吸収され、地表には到達しません。日焼けやシミ、しわ等の皮膚トラブルの原因になるのは、UVAとUVBです。

UVA

比較的波長が長い為、肌の奥深くまで到達し、例えば、しわの原因になることがあります。また、UVAはオゾン層を通り抜けやすく、常時地上に降り注いでいます。雲や窓ガラスを通り抜けやすい為、曇りの日も日当たりの良い屋内でも対策が必要です。

UVB

エネルギーが強い為、肌表面の細胞を傷つけたり、炎症を起こし、日焼け、シミ、皮膚がんの原因となります。ただし、波長が短い分、UVAに比べると地上に到達する量は少なく、日焼け止めや日傘を使うなど、極力直射日光に当たらないように心がけることで、ある程度防御することができます。

日焼け止めの選び方

日焼け止めのパッケージで見かける「SPF」と「PA」[+]表示。これらはUVA、UVBから肌をどのくらい守ってくれるのかを数値や記号で表したものです。

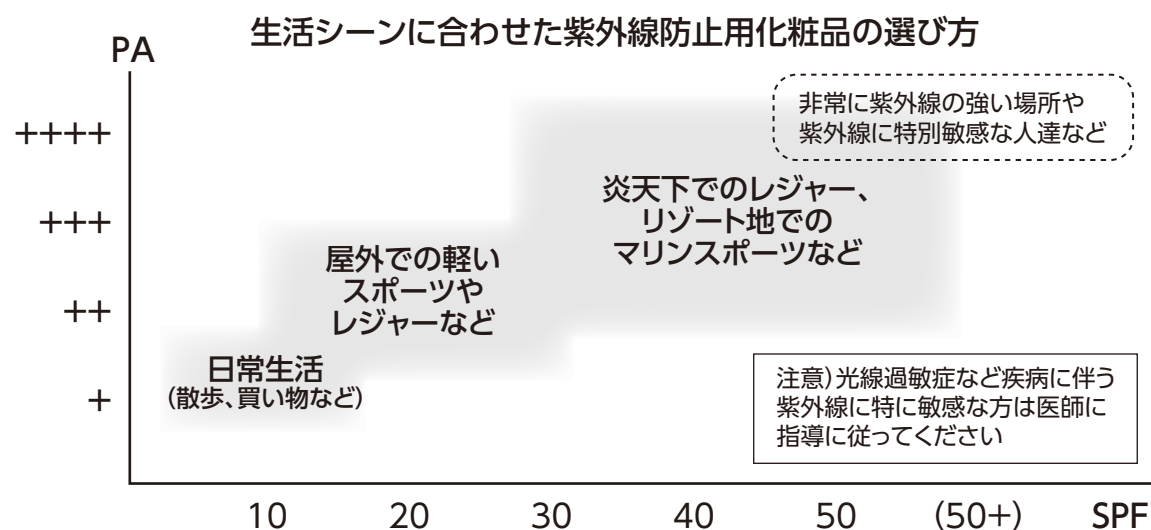
SPF (Sun Protection Factor)

SPFとは、UVBに対する防止効果を示すものです。SPFは50を最大とし、50を超える場合は「50+」と表示され、数値が大きいほどその防止効果が高まります。

PA (Protection Grade of UVA)

PAとは、UVAに対する防止効果を示すものです。PAは「PA+」～「PA+++」の4段階で表示され、「+」が多いほど防止効果が高まります。

以下のように、「どのくらいの時間、紫外線を浴びることになるか」を目安に選んで下さいね。

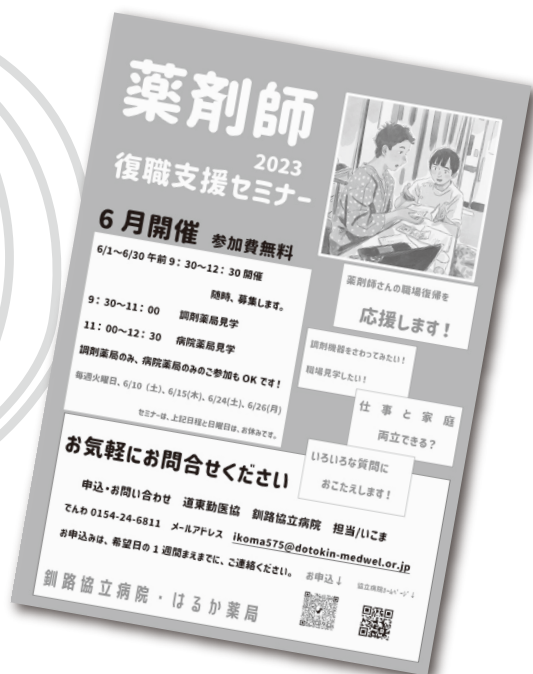


出典:日本化粧品工業連合会編「紫外線防止用化粧品と紫外線防止効果」より

(薬剤師:西 淳子)

薬剤師復職支援セミナー

申し込み
お待ち
しています



薬剤師復職支援セミナーは薬剤師免許を持ちながら、子育てなど様々な理由でお仕事から離れていた薬剤師さんに、復職の手助けになればと考え企画しています。協立病院との合同開催ですが、病院だけ、調剤薬局だけの見学も可能です。実際に服薬指導の場面を見学したり、調剤機器を操作してみるなど、ある程度ご要望にもお応えできます。今すぐに復職を考えていなくても、ブランクの長短にかかわらずご参加いただけます。参加費などは一切かかりません。詳しい情報は二次元バーコードよりご覧ください。

※釧路市内、施設や店舗にポスター掲示ご協力いただきました。
ありがとうございます。



～はるか薬局緊急時電話番号～



0154-31-7811または
090-3775-3026

夜間、日曜祝日等の閉店時で緊急の対応を要する場合がございます。



お知り合いの薬剤師・薬学生の方を
ご紹介下さい 奨学金制度もあります

※詳しくは、あゆみ調剤までご連絡下さい。

0154-31-7811